

図書館の本の修理

本屋さんやネットショップに並ぶ本は、買った人が一度読んだらそれで終わり、という事が多いのではないのでしょうか？また、家族や友人にも勤めて読まれたり、古本屋さんに売られ他の誰かの元へ、ということもあるでしょう。いつか読もうと、新刊のまま積んで置かれ、読まれるのを待っている本もあるかもしれません。それに比べて図書館の本はたくさんの人に利用されます。いつも棚にない人気作家の本も多くあります。たくさんの人に読まれる図書館の本は、残念ながら少しずつ傷んでいってしまいます。そんな本を見つけたら、どうしたらよいかを紹介します。

新しく入った本
今週の新しく入った本、面白いのがあるかな？

毎週土曜日に「新しく入った本のコーナー」に新着本が並びます。図書館はあらゆる分野の本が揃う情報の宝庫です。ふだんはあまり読まないような本も読んでみてください。

この本面白そうや。読んでみよう。

図書館の中で読んだり、見たりするだけではなく借りて帰ってゆつくり読んで下さいね。きつと素晴らしい出会いがあると思いますよ。

困った...どうしよう。

こうして図書館の本は貸出されたり、返却されたりしてたくさんの人に利用されます。

あたらしくはいっぱい

こんな時は、そのまま返却して下さい。

次に利用する人に支障がないか、何か挟まっていないかを確認するために、図書館では返ってきた本を1冊ずつチェックして棚に戻しています。一人一人が大切に読んでいても、紙で出来ている本はやがて傷んでいきます。人気があってよく貸出される本ほど、破れたり、汚れたりします。それが少しでも綺麗になるように、職員が修理しています。多くの人に気持ち良く図書館の本を利用してもらうために、皆さん一人一人が少しでも本を大切に扱っていただきますようにご協力をお願いします。

それでは、本の修理をしている職員に登場してもらいましょう！

ページが取れた本

汚れた本

破れた本

落書きされた

本の修理は専用のボンドやテープを使って直します。

セロテープは時間が経つと茶色くなったりして、本が傷む原因になります。

ページが取れたり、破れたりした時は自分で修理をせずにそのままの状態を図書館に持ってきて職員に教えて下さい。

ようろしく!!

こうして修理の終わった本は棚に戻って又活躍してくれます。皆さん大事に利用して下さいね。

図書館探検ガイド

日時：11月11日(日)
午前10時～午前11時

場所：精華町立図書館

図書館職員がガイド役をし、ふだん見ることのできない書庫や返却ポストの中など、図書館内を案内します

図書館文学講座
「断捨離のルーツ 方丈記を読む」
日時：11月15日(木)
午後1時～午後3時30分
講師：小林一彦氏
京都産業大学文化学部教授
(日本古典文学専門)

配送貸出サービス
障害者の方など、図書館への来館が困難な方にご利用いただけます(事前に登録が必要です)。詳しくは図書館までお問合せください。